

感染予防対策と学びの保障

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言及び臨時休校となってから2年が過ぎました。未だに感染が収束することはなく、まん延防止等重点措置も延長されました。子どもたちが、一日中マスクを着用し、大きな声を出すことを控え、給食中も会話もせず食べている姿を見ると、とてもつらい思いです。早くコロナが収束し、体育館に全員が集まって大きな声で校歌を歌う日が来てほしいものです。

学校に登校する子、家庭で待機する子、そのどちらにも学びの保障を考えて、オンラインを使った授業を継続しています。まだまだ予断を許さない状態ではありますが、御心配なことがありましたら、遠慮なく学校にご連絡ください。

- 今後も、下校時刻の繰り上げ等がある場合、メールで連絡することがあります。しばらくの期間、定期的に「あんしんメール」の着信をご確認ください。ご協力よろしくお願いします。

オミクロン株の影響は、学校にも忍び寄っています。学校では、「どんな対策をすれば、どこまでの教育活動が安全にできるか」を考え、判断しながら取り組んできました。そして、多少の変更はありながらも、何とか学校行事を実施してきましたが、今後どうなるか先行きが見えない状況です。各学年、締め行事もあるので、何とか予定どおり実施できることを願っています。状況によっては、行事の急な変更等でご迷惑をおかけすることもあると思いますが、ご理解とご了承をお願いします。

改めてお願いします。

かかった人を詮索しない。責めない。

どんなに予防していても感染してしまうことがあります。悪いのは、コロナウイルスです。

「もっと情報が欲しい」「子どもに登校させるかどうかを判断する材料が少ない」といったご意見もあろうかと思えます。お子様を思う保護者の皆様の気持ちは、十分理解しているつもりです。しかし、陽性となった方の心情や、子ども同士の関係においても、詮索や風評による差別や偏見が生じる可能性も考えられます。詳細な情報をお伝えすることができないということを、何卒ご理解ください。

学校としましても、日々刻々と変化していく校内の状況を教育委員会、保健所に伝え、指示を仰ぎながら、適切に対処しております。



昼休みのひとコマ

長なわとび、ある時まで上級生や先生方と一緒にやっていたのに、この日は、自分たちだけで取り組んでいました。回すのも大変だろうなあと見ていましたが、みんな夢中になって遊んでいました（時々言い合いもしながら）。なんとも微笑ましい光景でした。

4月からはもう2年生です・・・。